



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日

上場会社名 日産化学株式会社 上場取引所 東
コード番号 4021 URL <https://www.nissanchem.co.jp/>
代表者（役職名）取締役社長（氏名）八木 晋介
問合せ先責任者（役職名）財務部副部長（氏名）野村 浩司（TEL）03-4463-8401
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 2024年12月9日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	118,185	11.8	28,344	17.6	27,945	6.7	20,522	5.3
2024年3月期中間期	105,675	△3.5	24,094	△14.4	26,197	△18.1	19,497	△17.7

（注）包括利益 2025年3月期中間期 18,644百万円（△17.4%） 2024年3月期中間期 22,578百万円（△12.2%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	148.78	—
2024年3月期中間期	139.55	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	311,389	231,599	73.4
2024年3月期	323,458	230,952	70.3

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 228,630百万円 2024年3月期 227,520百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	70.00	—	94.00	164.00
2025年3月期	—	70.00			
2025年3月期（予想）			—	94.00	164.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	245,000	8.1	53,000	10.0	53,200	3.0	39,400	3.6	285.94

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」も合わせてご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) NCアグロ函館株式会社、除外 1社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	137,800,000株	2024年3月期	138,800,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	243,174株	2024年3月期	186,649株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	137,933,538株	2024年3月期中間期	139,713,151株

※当社は、2019年7月30日の取締役会決議に基づき、「株式給付信託(BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。期末自己株式数に含まれる当該自己株式数は、当中間連結会計期間末において、139,400株です。また、期中平均株式数から控除した当該自己株式の期中平均株式数は、当中間連結会計期間において、139,783株です。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算説明資料の入手方法)

2024年11月11日(月)に、決算説明資料を当社ホームページに掲載いたします。また当日開催する機関投資家・アナリスト向け説明会の説明内容(音声、トランスクリプト)については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 利益配分に関する基本方針	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2024年4月1日～2024年9月30日）の国内景気は、24年春闘の賃上げ率の伸びに伴う個人消費の回復、半導体需要の回復、自動車販売の回復などを背景に底堅く推移しました。このような状況のもと、当社グループの事業につきましては、化学品セグメントは、基礎化学品は減収、ファインケミカルは増収となりました。機能性材料セグメントは、半導体材料が好調に推移しました。農業化学品セグメントは、増収となりました。ヘルスケアセグメントは、減収となりました。

この結果、当期間における業績は以下の通りとなり、売上高、各利益ともに前年同期及び5月に発表した業績予想を上回りました。

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

	2024年3月期 中間 (実績)	2025年3月期 中間 (実績)	前年同期比 増減	2025年3月期 中間 (業績予想)	業績予想比 増減
売上高	105,675	118,185	+12,510	109,600	+8,585
営業利益	24,094	28,344	+4,250	24,000	+4,344
経常利益	26,197	27,945	+1,747	23,300	+4,645
親会社株主に帰属する 中間純利益	19,497	20,522	+1,025	18,100	+2,422

セグメント別概況は以下のとおりであります。

化学品セグメント

基礎化学品では、高純度硫酸（半導体用洗浄剤）は増収となりましたが、尿素・「アドブルー®」（高品位尿素水）や硝酸製品（金属溶解・表面処理等）が減収となりました。ファインケミカルでは、「テピック」（粉体塗料硬化剤、封止材材料等）が増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は178億51百万円（前年同期比23百万円減）、営業損失は3億79百万円（同2億93百万円減益）となりました。業績予想(注)比では、売上高、営業利益ともに2億円の下ぶれとなりました。

* アドブルー®はドイツ自動車工業会（VDA）の登録商標です。

(注) 業績予想数値は2024年3月期決算説明資料(2024年5月13日発表)Part2 P19に記載

機能性材料セグメント

ディスプレイ材料では、「サンエバー」（液晶配向材用ポリイミド）が増収となりました。半導体材料は、半導体用反射防止コーティング材（ARC®）及び多層材料（OptiStack®）が顧客の稼働回復を受けて増収となりました。無機コロイドは、「スノーテックス」（電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等）やオルガノシリカゾル・モノマーゾル（各種コート剤、樹脂添加剤）が増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は486億11百万円（前年同期比80億98百万円増）、営業利益は143億73百万円（同32億43百万円増）となりました。業績予想(注)比では、売上高は39億円の上ぶれ、営業利益は21億円の上ぶれとなりました。

* ARC®, OptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標です。

(注) 業績予想数値は2024年3月期決算説明資料(2024年5月13日発表)Part2 P19に記載

農業化学品セグメント

フルララネル（動物用医薬品原薬）は増収となりました。国内向け農薬は、「アルテア」（水稲用除草剤）が増収となりました。海外向け農薬は、「グレーシア」（殺虫剤）や「ライメイ」（殺菌剤）が伸長しました。

この結果、当セグメントの売上高は391億90百万円（前年同期比39億11百万円増）、営業利益は142億42百万円（同26億4百万円増）となりました。業績予想(注)比では、売上高は24億円の上ぶれ、営業利益は18億円の上ぶれとなりました。

(注) 業績予想数値は2024年3月期決算説明資料(2024年5月13日発表)Part2 P19に記載

ヘルスケアセグメント

「リバロ」（高コレステロール血症治療薬）原薬は、国内、海外ともに減収となりました。「ファインテック」（課題解決受託事業および共同開発型事業）は、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は32億94百万円（前年同期比2億52百万円減）、営業利益は12億66百万円（同5億39百万円減）となりました。業績予想(注)比では、売上高は3億円の上ぶれ、営業利益は4億円の上ぶれとなりました。

(注) 業績予想数値は2024年3月期決算説明資料(2024年5月13日発表)Part2 P19に記載

卸売セグメント

当セグメントの売上高は562億66百万円（前年同期比74億73百万円増）、営業利益は20億22百万円（同2億40百万円増）となりました。業績予想(注)比では、売上高は60億円の上ぶれ、営業利益は5億円の上ぶれとなりました。

(注) 業績予想数値は2024年3月期決算説明資料(2024年5月13日発表)Part2 P64、65に記載

その他のセグメント

当セグメントの売上高は120億38百万円（前年同期比2億26百万円減）、営業利益は34百万円（同1億24百万円減）となりました。

(2)財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当中間連結会計期間末の総資産は、現預金や棚卸資産が増加しましたが、売上債権が減少したことなどにより、前連結会計年度末比120億69百万円減の3,113億89百万円となりました。

負債は短期借入金が増加したことなどから、前連結会計年度末比127億15百万円減の797億89百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比6億46百万円増の2,315億99百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比3.1ポイント増加し、73.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、461億53百万円の収入（前年同期は360億26百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、工場などの設備投資による支出などにより、70億46百万円の支出（前年同期は84億86百万円の支出）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、借入金の返済、配当金の支払、自己株式の取得による支出などにより、310億87百万円の支出（前年同期は362億32百万円の支出）となりました。

現金及び現金同等物の中間期末残高は、換算差額の減少額3億25百万円を調整した結果、前連結会計年度末に比較して76億94百万円増加しており、これに新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額17百万円を加味した結果、304億49百万円（前年同期は211億71百万円）となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想に関しましては、中間連結会計期間及び足元での需要予測をもとに、前回発表予想数値を以下の通り修正いたしました。第3四半期以降の為替については、1米ドル145円を前提としております。

2025年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(単位：億円)

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績
売上高	2,341	2,450	+109	4.7%	2,267
営業利益	500	530	+30	6.0%	482
経常利益	505	532	+27	5.3%	516
親会社株主に帰属する 当期純利益	384	394	+10	2.6%	380
1株当たり 当期純利益	279円08銭	285円94銭	+6円86銭	2.5%	272円82銭

2025年3月期 通期セグメント別連結売上高及び営業利益予想数値の修正

(単位：億円)

	売上高		営業利益	
	前回発表予想	今回発表予想	前回発表予想	今回発表予想
化学品	377	385	6	1
機能性材料	919	974	244	283
農業化学品	849	863	241	257
ヘルスケア	64	62	23	23
卸売	1,041	1,124	32	37
その他	287	291	7	8
調整額	△1,196	△1,249	△53	△79
計	2,341	2,450	500	530

(4)利益配分に関する基本方針

当社は、中長期的に事業収益を拡大し、財務体質を強化することで企業価値の向上に努め、株主の皆様への積極的な還元を図ってまいります。

なお、2022年4月に始動した中期経営計画「Vista2027」のStage Iでは、2022年度以降は配当性向を55%、総還元性向を75%とすることを目標としております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,738	30,449
受取手形、売掛金及び契約資産	88,800	68,973
商品及び製品	56,804	58,205
仕掛品	5	248
原材料及び貯蔵品	21,370	22,944
未収入金	2,956	1,655
短期貸付金	2,152	1,719
その他	7,189	6,070
貸倒引当金	△48	△50
流動資産合計	201,968	190,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	85,860	87,105
減価償却累計額及び減損損失累計額	△50,898	△52,344
建物及び構築物(純額)	34,962	34,760
機械装置及び運搬具	170,309	173,254
減価償却累計額及び減損損失累計額	△145,729	△150,130
機械装置及び運搬具(純額)	24,579	23,123
工具、器具及び備品	44,084	44,554
減価償却累計額及び減損損失累計額	△39,457	△40,341
工具、器具及び備品(純額)	4,626	4,213
土地	9,064	9,047
リース資産	160	135
減価償却累計額	△24	△21
リース資産(純額)	135	114
建設仮勘定	4,004	6,055
有形固定資産合計	77,372	77,315
無形固定資産		
ソフトウェア	2,444	2,683
その他	8,302	7,965
無形固定資産合計	10,747	10,648
投資その他の資産		
投資有価証券	26,119	25,422
長期貸付金	50	0
繰延税金資産	519	520
退職給付に係る資産	3,737	3,742
その他	3,054	3,632
貸倒引当金	△111	△110
投資その他の資産合計	33,370	33,207
固定資産合計	121,489	121,171
資産合計	323,458	311,389

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,427	17,554
短期借入金	39,062	16,766
1年内返済予定の長期借入金	634	574
未払法人税等	4,940	7,580
賞与引当金	2,548	2,510
関係会社事業損失引当金	310	227
事業構造改善引当金	2	—
その他	18,638	18,757
流動負債合計	86,563	63,969
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	1,284	1,027
繰延税金負債	1,381	1,370
関係会社事業損失引当金	143	159
役員株式給付引当金	272	254
退職給付に係る負債	467	523
その他	2,392	2,484
固定負債合計	5,941	15,819
負債合計	92,505	79,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,613	13,613
利益剰余金	182,376	185,121
自己株式	△943	△1,163
株主資本合計	213,989	216,513
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,238	7,966
為替換算調整勘定	4,226	3,155
退職給付に係る調整累計額	1,066	995
その他の包括利益累計額合計	13,531	12,117
非支配株主持分	3,432	2,968
純資産合計	230,952	231,599
負債純資産合計	323,458	311,389

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	105,675	118,185
売上原価	54,136	61,267
売上総利益	51,539	56,918
販売費及び一般管理費	27,444	28,573
営業利益	24,094	28,344
営業外収益		
受取利息	83	126
受取配当金	354	465
持分法による投資利益	397	143
為替差益	1,879	—
その他	341	884
営業外収益合計	3,057	1,619
営業外費用		
支払利息	255	345
固定資産処分損	501	342
社債発行費	—	53
休止損	58	249
為替差損	—	833
その他	139	193
営業外費用合計	953	2,019
経常利益	26,197	27,945
特別利益		
条件付対価受入益	—	821
投資有価証券売却益	603	—
特別利益合計	603	821
特別損失		
特別損失合計	—	—
税金等調整前中間純利益	26,801	28,767
法人税、住民税及び事業税	6,806	8,435
法人税等調整額	313	143
法人税等合計	7,119	8,579
中間純利益	19,682	20,187
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	184	△334
親会社株主に帰属する中間純利益	19,497	20,522

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	19,682	20,187
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	586	△271
為替換算調整勘定	2,321	△1,199
退職給付に係る調整額	△10	△71
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	2,896	△1,543
中間包括利益	22,578	18,644
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	22,140	19,108
非支配株主に係る中間包括利益	437	△463

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	26,801	28,767
減価償却費	5,829	6,145
条件付対価受入益	—	△821
のれん償却額	50	18
受取利息及び受取配当金	△438	△591
投資有価証券売却損益 (△は益)	△603	—
支払利息	251	345
固定資産処分損益 (△は益)	501	342
売上債権の増減額 (△は増加)	15,324	19,831
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,170	△3,306
仕入債務の増減額 (△は減少)	△830	△3,420
その他	4,817	3,200
小計	43,533	50,511
利息及び配当金の受取額	1,315	1,792
利息の支払額	△253	△326
法人税等の支払額	△8,568	△5,823
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,026	46,153
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△67	△66
投資有価証券の売却による収入	788	1
子会社株式の取得による支出	△10	—
子会社株式の売却による収入	—	276
有形固定資産の取得による支出	△10,385	△8,533
有形固定資産の除却による支出	△468	△330
無形固定資産の取得による支出	△608	△981
条件付対価の決済による収入	—	2,633
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	2,309	453
長期前払費用の取得による支出	△110	△551
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	93	—
その他	△27	51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,486	△7,046
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△17,720	△22,724
長期借入金の返済による支出	△312	△317
社債の発行による収入	—	10,000
配当金の支払額	△13,199	△13,043
自己株式の取得による支出	△5,004	△5,000
その他	4	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,232	△31,087
現金及び現金同等物に係る換算差額	215	△325
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,476	7,694
現金及び現金同等物の期首残高	29,647	22,738
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	17
現金及び現金同等物の中間期末残高	21,171	30,449

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年7月30日の取締役会にて決議された「株式給付信託(BBT)」において、2024年4月25日付で対象者へ4,600株の株式給付を行いました。この結果、当中間連結会計期間において、自己株式が22百万円減少しております。また、2024年5月13日および2024年5月28日の取締役会決議に基づき、1,061,000株の自己株式の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間において、自己株式が4,999百万円増加しております。

また、2024年8月27日の取締役会決議に基づき、2024年9月9日付で1,000,000株の自己株式の消却を行いました。この結果、当中間連結会計期間において、利益剰余金が4,757百万円、自己株式が4,757百万円減少しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の連結貸借対照表は、繰延税金負債が49百万円減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、前連結会計年度の期首の利益剰余金は49百万円増加しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

1) 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)2	中間連結 損益計算 書計上額
	化学品 事業	機能的 材料事業	農業 化学品 事業	ヘルス ケア 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高(注)1	11,896	32,855	29,528	3,489	36,617	4,701	119,089	△13,413	105,675
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,978	7,657	5,750	57	12,175	7,563	39,182	△39,182	—
計	17,874	40,513	35,279	3,546	48,793	12,265	158,272	△52,596	105,675
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損失)	△86	11,129	11,638	1,805	1,782	158	26,427	△2,332	24,094

(注) 1. 報告セグメントの外部顧客に対する売上高は、代理人取引となる売上高についても総額で算定しております。
代理人取引となる売上高を純額とするための調整は、調整額に含めております。

2. 調整額は以下のとおりです。

- (1)外部顧客に対する売上高の調整額△13,413百万円には、代理人取引消去△13,424百万円と、各報告セグメントに帰属していない売上高10百万円が含まれております。
- (2)セグメント利益の調整額△2,332百万円には、セグメント間取引消去402百万円、各報告セグメントに帰属していない売上高11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△2,746百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)2	中間連結 損益計算 書計上額
	化学品 事業	機能的 材料事業	農業 化学品 事業	ヘルス ケア 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高(注)1	11,850	36,002	32,141	3,220	42,955	4,526	130,696	△12,510	118,185
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,001	12,608	7,049	74	13,311	7,512	46,557	△46,557	—
計	17,851	48,611	39,190	3,294	56,266	12,038	177,253	△59,067	118,185
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損失)	△379	14,373	14,242	1,266	2,022	34	31,559	△3,214	28,344

(注) 1. 報告セグメントの外部顧客に対する売上高は、代理人取引となる売上高についても総額で算定しております。
代理人取引となる売上高を純額とするための調整は、調整額に含めております。

2. 調整額は以下のとおりです。

- (1)外部顧客に対する売上高の調整額△12,510百万円には、代理人取引消去△12,723百万円と、各報告セグメントに帰属していない売上高212百万円が含まれております。
- (2)セグメント利益の調整額△3,214百万円には、セグメント間取引消去△707百万円、各報告セグメントに帰属していない売上高214百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△2,721百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。